

号外はインターネットの福島民報ホームページ (<https://www.minpo.jp/>) でもご覧になれます。

復興相に秋葉氏

第2次岸田改造内閣の顔触れ

【2022年8月10日発足】

第2次岸田内閣

総理  岸田 文雄 65 党国対委員長、外相、党政調会長。早大卒(岸田派)衆⑩広島1区	環境 [初]  西村 明宏 62 国交副大臣、官房副長官、党筆頭副幹事長。早大院修了(安倍派)衆⑥宮城3区
総務 [初]  寺田 稔 64 党国防部会長、総務副大臣、首相補佐官。東大卒(岸田派)衆⑥広島5区	防衛  浜田 靖一 66 防衛相、党国対委員長、衆院予算委員長。専修大卒(無派閥)衆⑩千葉12区
法務 [初]  葉梨 康弘 62 衆院法務委員長、農水副大臣、党政調会長代理。東大卒(岸田派)衆⑥茨城3区	官房 [留]  松野 博一 59 文科相、党総務会長代行、党選対委員長代理。早大卒(安倍派)衆⑧千葉3区
外務 [留]  林 芳正 61 経財相、農相、文科相。米ハーバード大院修了(岸田派)衆①山口3区 参⑤	デジタル  河野 太郎 59 行革相、外相、防衛相。米ジョージタウン大卒(麻生派)衆⑨神奈川15区
財務 [留]  鈴木 俊一 69 環境相、衆院外務委員長、五輪相、党総務会長。早大卒(麻生派)衆⑩岩手2区	復興 [初]  秋葉 賢也 60 厚労副大臣、衆院環境委員長、首相補佐官。東北大院修了(茂木派)衆⑦比例東北
文部科学 [初]  永岡 桂子 68 厚労副大臣、衆院文科委員長、党副幹事長。学習院大卒(麻生派)衆⑥茨城7区	国家公安、防災 [初]  谷 公一 70 復興副大臣、衆院国交委員長、党政調会長代理。明大卒(二階派)衆⑦兵庫5区
厚生労働  加藤 勝信 66 1億総活躍相、党総務会長、厚労相、官房長官。東大卒(茂木派)衆⑦岡山5区	地方創生、沖縄北方 [初]  岡田 直樹 60 党参院幹事長代行、官房副長官、党参院国対委員長。東大卒(安倍派)参④石川選挙区
農林水産 [初]  野村 哲郎 78 党参院政審会長代理、参院決算委員長。ラ・サール高卒(茂木派)参④鹿児島選挙区	経済再生 [留]  山際 大志郎 53 経産副大臣、衆院内閣委員長、党政調会長代理。東大院修了(麻生派)衆⑥神奈川18区
経済産業  西村 康稔 59 衆院内閣委員長、官房副長官、経済再生相。東大卒(安倍派)衆⑦兵庫9区	経済安全保障  高市 早苗 61 沖北相、総務相、衆院議運委員長、党政調会長。神戸大卒(無派閥)衆⑨奈良2区
国土交通 [留]  斉藤 鉄夫 70 環境相、党政調会長、党幹事長、党副代表。東工大院修了(公明)衆⑩広島3区	少子化 [初]  小倉 将信 41 総務政務官、党青年局長。英オックスフォード大院修了(二階派)衆④東京23区

岸田文雄首相(六五)は十日、第二次岸田改造内閣の顔触れを決め、松野博一官房長官(五九)が閣僚名簿を発表した。十九閣僚のうち初入閣は九人、留任は五人。再入閣五人のうち厚生労働相の加藤勝信前官房長官(六六)、防衛相の浜田靖一・自民党元

国対委員長(六六)は再び同じポストに就いた。経済産業相に西村康稔前経済再生担当相(五九)を充てた。物価高や新型コロナウイルスへの対応が急務。防衛力強化にどのように取り組むかも課題となる。経済安全保障担当相に高市早苗元総務相(六二)を

登用。デジタル相に河野太郎元外相(五九)が就任した。女性閣僚は改造前と同じ二人。皇居での認証式を経て、十日夕に正式発足する。初入閣組では、農相に野村哲郎前参院決算委員長(七八)、地方創生兼沖縄

官房副長官(六〇)、総務相に寺田稔元総務副大臣(六四)を充てた。文部科学相に永岡桂子元文科副大臣(六八)、法相に葉梨康弘元法務副大臣(六三)、復興相に秋葉賢也元首相補佐官(六〇)、国家公安委員長兼防災担当相に谷公一元

に西村明宏元官房副長官(六二)を起用した。少子化対策担当相の小倉将信衆院議員(四二)は当選四回の若手。松野氏と鈴木俊一財務相(六九)、林芳正外相(六二)、山際大志郎経済再生担当相(五三)、公明党の斉藤鉄夫国土交通相(七〇)はそれぞれ留任した。

環境 西村明氏 厚労 加藤氏

官房副長官
政務:木原 誠二 52 衆 [留]
政務:磯崎 仁彦 64 参 [留]
事務:栗生 俊一 63 [留]

※[留]は留任、[初]は初入閣、数字は年齢、()内は出身派閥、斉藤氏は所属政党、丸数字は当選回数。敬称略